施工説明書

シャワートイレ U3E

CW-811ER型　CW-810ER型
CW-811EL型　CW-810EL型

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
シャワートイレの施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
  ※ ヤケドやケガをしたり、故障・損害の恐れがあります。
- 給湯管に荷重を加えたり、衝撃を与えないでください。
  ※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。
- ストレーナーの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めて行ってください。
  ※ 止水栓を閉めないと、熱湯が噴出してヤケドをします。
- 止水栓のストレーナーを、緩めたり外したりしないでください。
  ※ 熱湯が噴出してヤケドをします。
- 上水道以外に接続しないでください。
  ※ ぼうこう炎や皮膚の炎症、および機械内部の腐食により故障の原因となります。

⚠ 注意

- 給湯圧は必ず給水圧以下で接続してください。
  ※ 異常時にヤケドをする恐れがあります。
- 給湯管は高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないでください。
  ※ ヤケドをする恐れがあります。
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
  ※ 漏水により家財等をぬらす恐れがあります。

施工前のご注意

■シャワートイレU3E対応表

シャワートイレU3Eを取り付けることが可能なユニットバスと使用便器は、以下のとおりです。

ユニット品番	旧ユニット品番	使用便器品番	U3E品番	備　考
—	BLCP-1624TAWA	C-25SCU	CW-810ER CW-810EL	
	BLCP-1624TAG2			
—	BLCP-1620TAWA			
	BLCP-1620TAG3			
BLCP-1620TAWB	BLCP-1620TAG2			
BLCP-1420TAWB	BLCP-1420TAG2			
BLCP-1418TAWB	BLCP-1418TAG2			
BLCP-1620TAWC	BLCP-1620TAU2	C-4U	CW-811ER CW-811EL	
BLCP-1418TAWC	BLCP-1418TAU2			
BLCP-1218TAWC	BLCP-1218TAU2			
BLCP-1418TAZD	—	C-13	CW-810ER CW-810EL	便座交換の場合では、操作部の左右どちらのタイプを取り付けることが可能か、事前にお客様にご確認ください。
BLCP-1218TAZD	—			
BLCP-1216TAZD	BLCP-1216TAWD			
	BLCP-1216TAS3			
BLCP-1116TAZD	BLCP-1116TAWD			
	BLCP-1116TAS3			
—	BLCH-1216TAWD			
	BLCH-1216TAS			
—	BLCH-1116TAWD			
	BLCH-1116TAS			
BLCP-1418SBZD	—			
BLCP-1218SBZD	—			
BLCP-1216SBZD	—			
BLCP-1116SBZD	—			
BLCH-1216SBWD	BLCH-1216SBS			
BLCH-1116SBWD	BLCH-1116BS			
BLCP-1216TBZE		C-13	CW-810ER CW-810EL	新規現場のみ対応 (便座交換の場合は不可)
BLCP-1116TBZE				
BLCH-1216SBWE				
BLCH-1116SBWE				
BLCP-1624TAZA	—	NC-99UB-X1	CW-811ER CW-811EL	
BLCP-1620TAZA				
BLCP-1420TAZA				

ユニットバス側の工事内容、配管引き出し位置については、該当ユニットバスの「施工説明書」を参照してください。

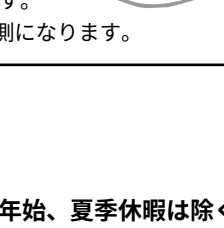
■給水管、給湯管の接続は？

付属の給水（湯）管は1.35mです。給水取出位置は給水接続部から１m以内です。

※梱包された給水（湯）管の長さが足りない場合は、別売の接続銅管[300-115(2000)](2m)を使用してください。

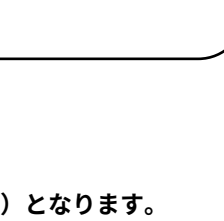
●**給水の接続には、2種類あります。**
給水方式に合った止水栓（分岐栓）を別途手配してください。

専用止水栓の場合



品番：CF-94

分岐栓の場合



品番：CF-95

■水圧・水質・給湯温度は？

給湯圧は、必ず給水圧以下に設定してください。(但し圧力差は、0.147MPa {1.5kgf/cm²} 以内)
給湯圧が高い場合は、減圧弁等で適正な圧力まで下げてください。
給湯圧が給水圧より高いと、正常に温度調整が行えず、事故につながる恐れがあります。

(1)給水（給湯）圧力は0.059MPa {0.6kgf/cm²} 以上必要です。0.059MPa以下では満足な洗浄シャワーが得られません。

(2)給水および給湯は必ず上水道に接続してください。
※水に不純物が多く含まれていると、機械部品の耐久性が低下します。(海岸近くの井戸水には塩素イオン、硫酸イオン、浮遊物が特に多く含まれている場合があります。)

(3)給湯温度は、45℃以上、70℃以下の範囲でご使用ください。
※45℃以下では適温の洗浄シャワーが得られません。また、70℃以上では、故障の原因になります。

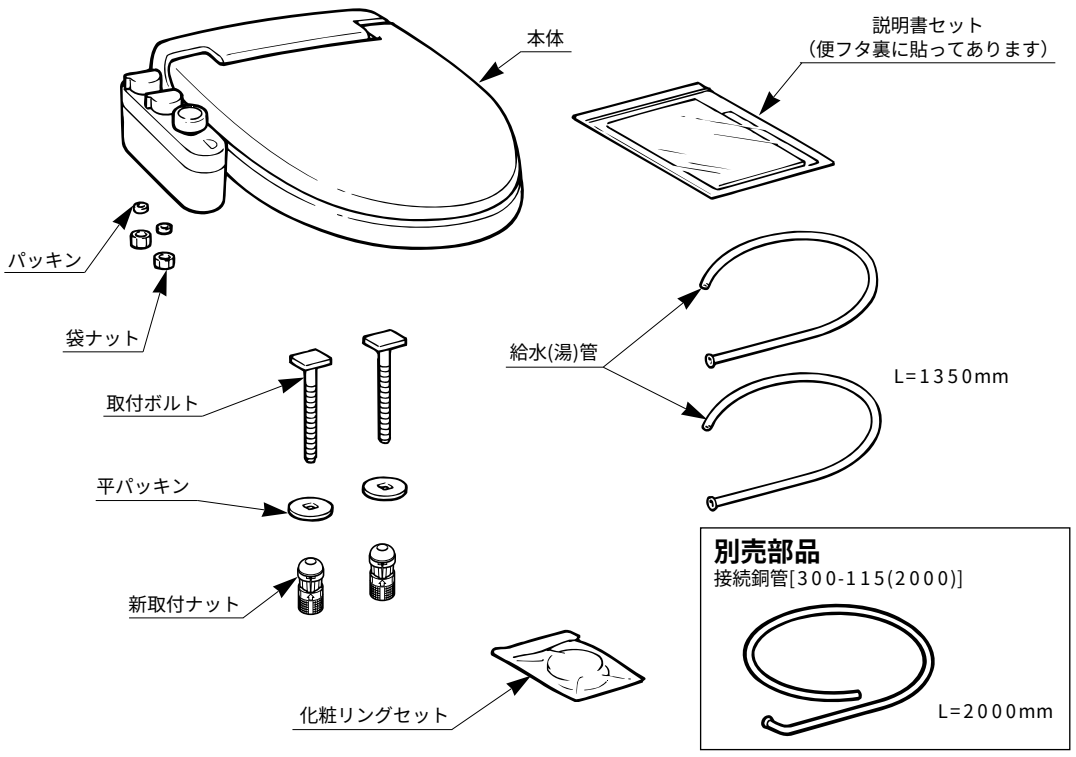
■給水（湯）管を切断したら

給水（湯）管を切断したら、必ず水洗いなどで切粉を完全に取り除いてから接続してください。
※故障の原因となることがあります。

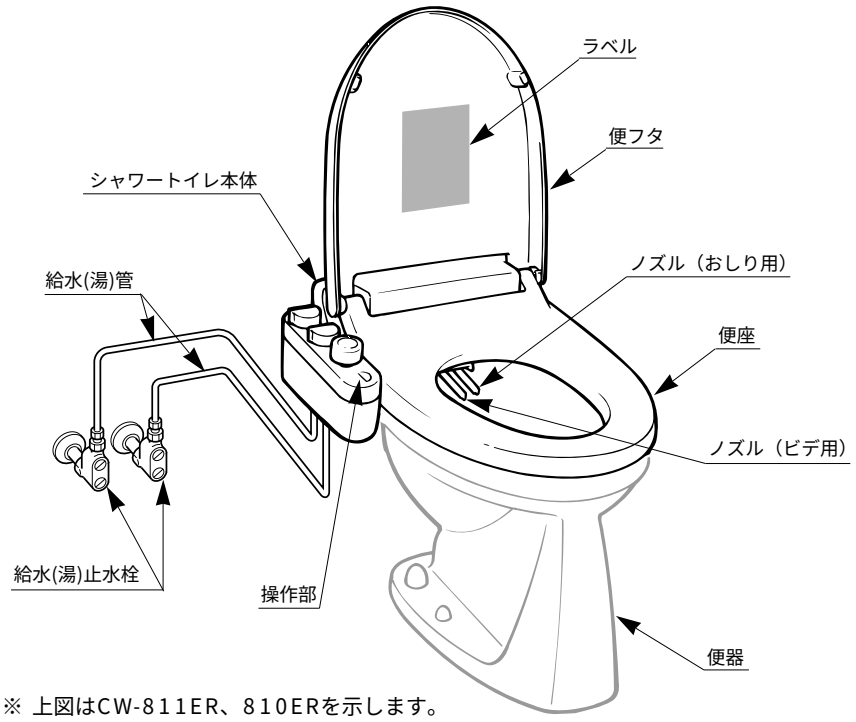
■寒冷地について

このシャワートイレは、寒冷地仕様ではありません。
凍結の恐れがある場所(地域)では、使用しないでください。
※故障する恐れがあります。

部品の確認（梱包内容を確認してください。）



各部のなまえ



※ 上図はCW-811ER、810ERを示します。
CW-811EL、810ELは操作部が反対側になります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、(株)INAX　お客さま相談センター　☎ 0562-31-0793

お客さま相談センターは、 平日　「9：00～19：00」対応、
土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始、夏季休暇は除く）となります。

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	● この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。 ● 施工後は必ず試運転を行ってください。 ● お客様の方に必ず本書と取扱説明書・保証書・使用説明書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

施 工 方 法

1 止水栓の取付け

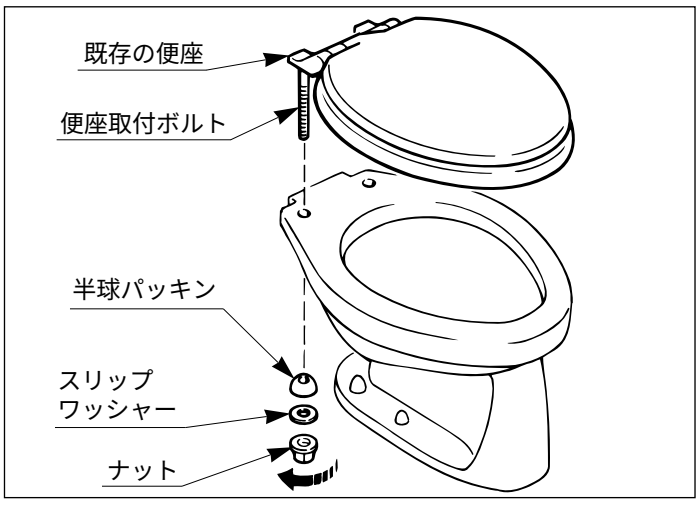
取付けの詳細に関しては、止水栓（分岐栓）に付属の施工説明書をご覧ください。

2 既存の便座の取外し

(1) 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外します。

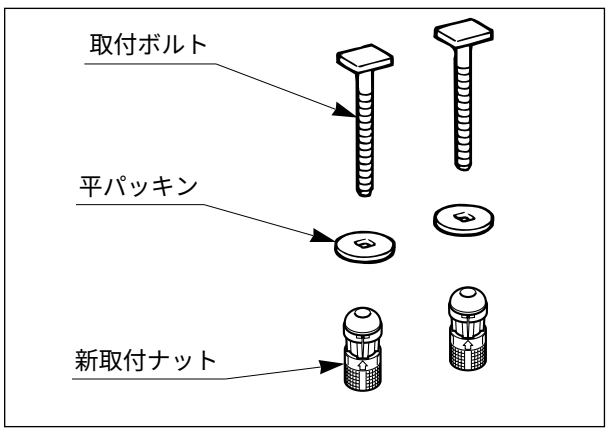
(2) 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外します。

参考1参照

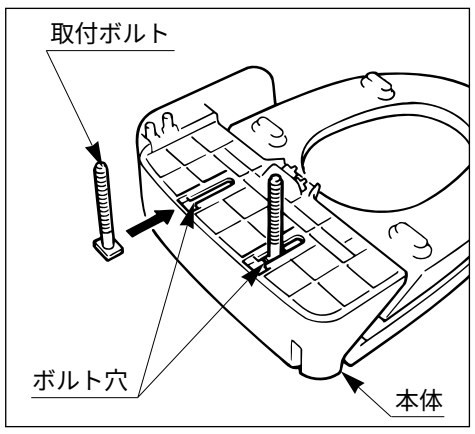


3 シャワートイレ本体の取付け

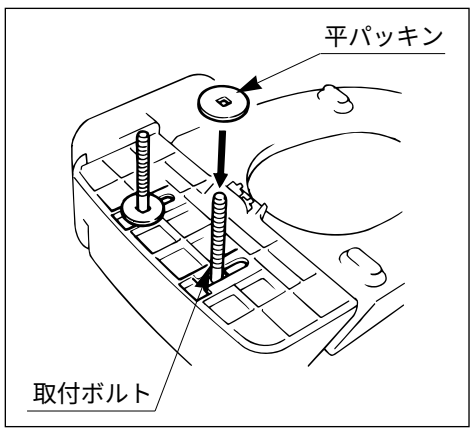
(1) 同梱の取付ボルトから新取付ナット、平パッキンを取り外します。



(2) 取付ボルトを本体底部のボルト穴にはめ込みます。

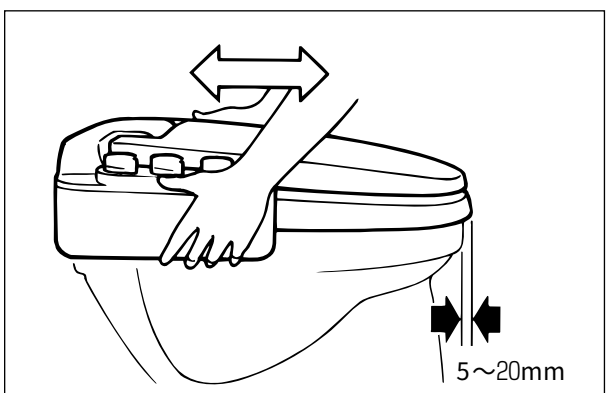


(3) 平パッキンを取付ボルトにはめ込みます。

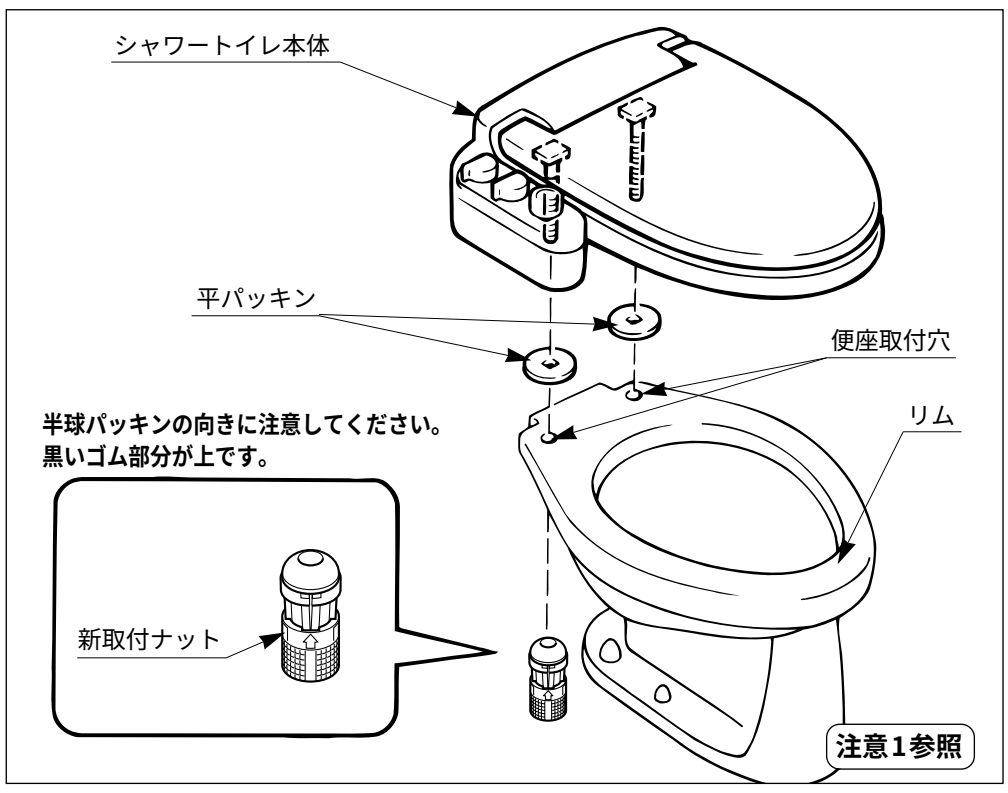


(4) 便器の便座取付穴に取付ボルトを差し込んで本体を設置します。

(5) 便座の先端が便器の先端より5～20mm出るように前後の位置調節をします。

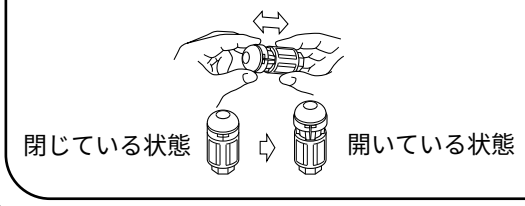


(6) 取付ボルトに新取付ナットを取り付け、本体がガタつかないよう確実に固定します。

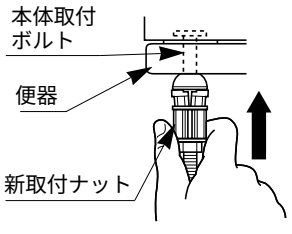


【新取付ナットの取付方法】

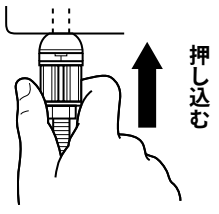
①新取付ナットが開いていることを確認します。
もし、開いていない場合は、下図のように引っぱって開きます。



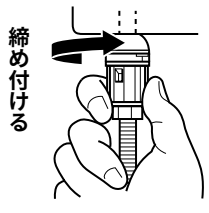
②新取付ナットを取付ボルトに通します。



③新取付ナットを上に押し込み、閉じさせます。



④新取付ナットを手で回して、しっかり締め付けます。



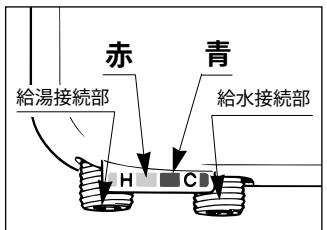
参考1
便器によっては、便座の取り外し方が説明と異なる場合があります。
ご注意ください。

注意1

- ナットの締付けは片利きのないように左右くりかえし、少しづつ行ってください。
  ※漏水の原因になります。
- 新取付ナットは、黒いゴム部分が上です。矢印を上に向けて組み付けてください。
- 手で締めにくい場合は、工具（対辺17mm）で増締めしてください。
- 便フタをあけたときに、便座から便器のリムが見えないようにしてください。

注意2

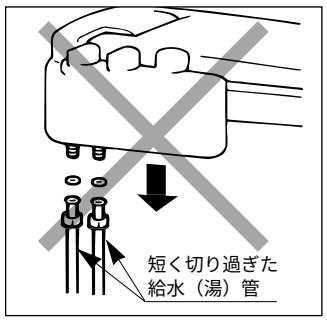
●給水接続部には青いマーク、給湯接続部には赤いマークが付いています。正しく接続してください。



※ CW-811EL・810ELの場合、接続位置は逆となりますので、色で判別して接続してください。

●給水（湯）管は必ず仮付けし、長さを合わせてから切断してください。

※短く切った給水（湯）管を強引に接続すると、おしり（ビデ）ダイアルが操作後、手を離しても戻らない場合があります。



●短く切り過ぎた給水（湯）管は使用できません。別手配して、再度長さを調節してください。

品番：300-115N

または300-115(2000)

●給水（湯）管は鋭角に曲げないでください。管がつぶれると水が通りにくくなります。

●給水（湯）管の切断には、必ずパイプカッターを使用してください。

●給水（湯）管の切断後は、切粉を水洗いなどで完全に取り除いてください。

注意3

●給水（湯）管はユニットの内部配管に干渉しないように設置してください。

注意4

●金属リングと樹脂リングの組付け順を間違えないでください。

逆組付けすると漏水します。

●給水（湯）管の接続は確実に行ってください。

袋ナットの締付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。

注意5

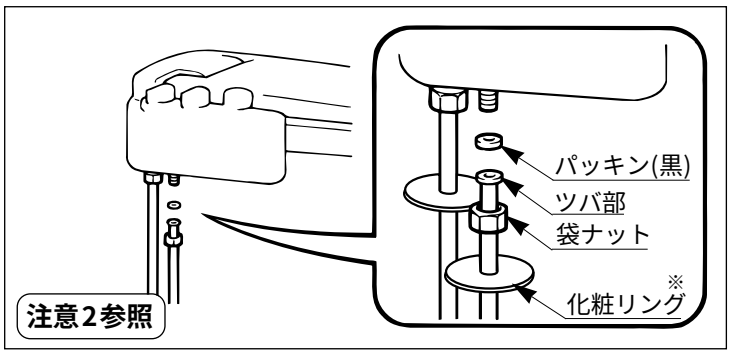
●化粧リングはエプロンの汚れを、きれいに拭きとってから貼ってください。

4 給水（湯）管の接続

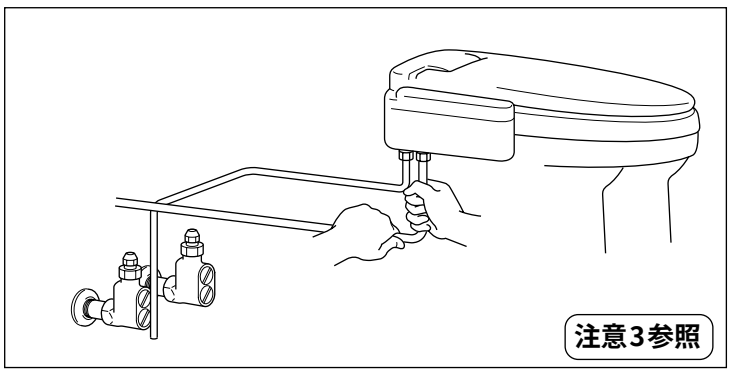
(1) 本体の給水および給湯接続部から袋ナットとパッキンを外します。

(2) 給水（湯）管に（1）で外した袋ナットを通し、給水（湯）管のツバ側を本体の給水（湯）接続部に仮付けします。

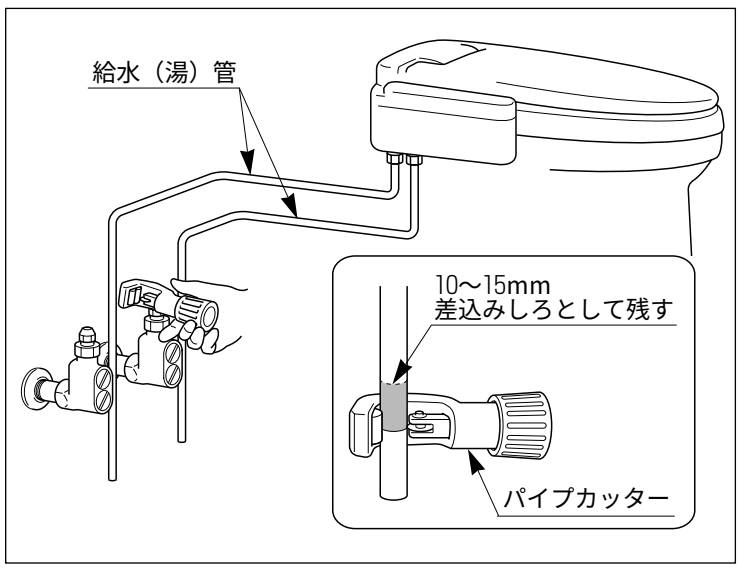
※ 給水（湯）管がユニットバスのエプロン等を貫通する場合は、付属の化粧リングも通しておきます。



(3) 給水（湯）管のツバがない側を止水栓の位置に合わせて、給水（湯）管をゆるやかに曲げます。



(4) 差込みしろとして10～15mm程度残して、給水（湯）管のツバがない側をパイプカッターで切断します。



警告

●給湯管に荷重を加えたり、衝撃を与えないでください。
※熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

●給水（湯）管に無理な力がかかっていたり、物やお客様の身体によって荷重をかけやすい取付け方になっていると、お客様がけがやヤケドをしたり、故障・損害が発生する恐れがあります。

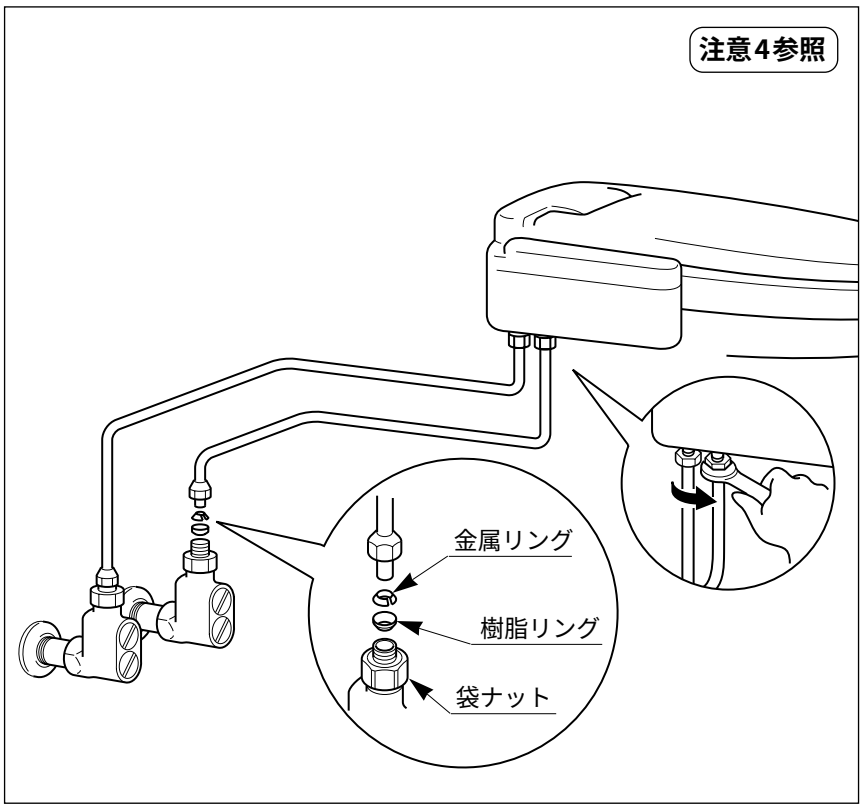
※お客様の使用場面を考慮した施工方法をとってください。

(5) 給水（湯）管のツバがない側に袋ナット・金属リングと樹脂リングを通して手で軽く締め付けます。（仮付け）

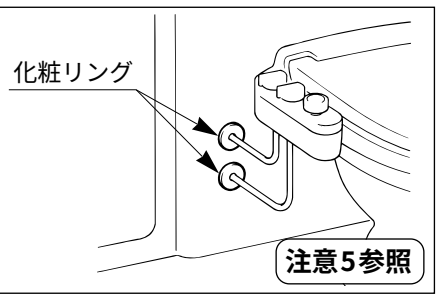
(6) 給水（湯）管に無理な力がかかっていないことを確認します。

(7) 両方の袋ナットをはじめに手でいっぱいに締め付けてから、工具で3/4～1回転増締めします。

（締付トルク10～15N・m {100～150kgf・cm}）



※ユニットバスのエプロン等を貫通する場合は付属の「化粧リングセット」を使用します。化粧リング裏側のシールをはがし、エプロンの貫通穴に貼り付けます。



5 漏水の確認

止水栓を開け、本体の給水（湯）接続部と止水栓から漏水がないことを確認します。

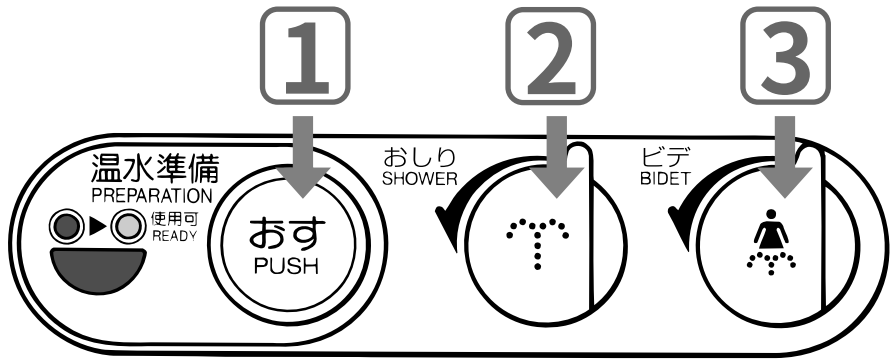
6 ご使用方法ラベルの貼付け

(1) 説明書セットの中からご使用方法ラベルを取り出します。

(2) お客様の要望を確認後、ご使用方法ラベルを貼ります。

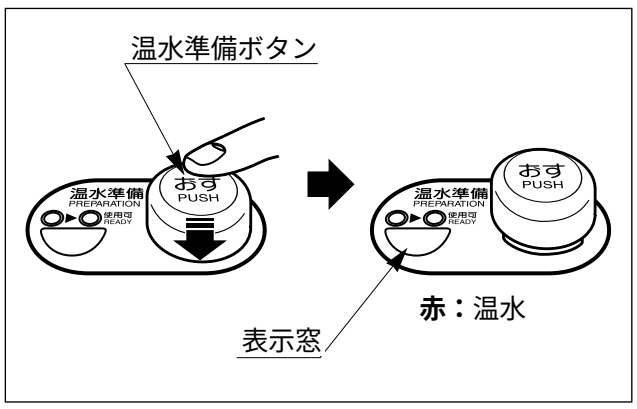
試 運 転

※右図はCW-811ER,810ERの操作部です。
CW-811EL,810ELは操作部のデザインが若干異なります。



1 準備操作の確認

(1) 温水準備ボタンを押して、温水準備ボタンが元の位置に戻り本体から便器内に給湯管内の冷水を排出することを確認します。
(2) 水が適温になると自動的に排水が止まります。表示窓が赤になりますので温水準備完了の目安としてください。



※水の排出を途中で止めたい場合は、温水準備ボタンを手で引き上げてください。

2 おしり洗浄の確認

(1) おしりダイアルを回してシャワーを出します。
本体からノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。
(2) シャワーが温かいことを確認します。
(3) おしりダイアルの角度をかえて、シャワーの強さがかわることを確認します。
(4) 確認終了後、おしりダイアルから手を離します。
おしりダイアルが元の位置に戻り、シャワーが止まります。

3 ビデ洗浄の確認

ビデダイアルもおしりダイアルと同じように確認します。

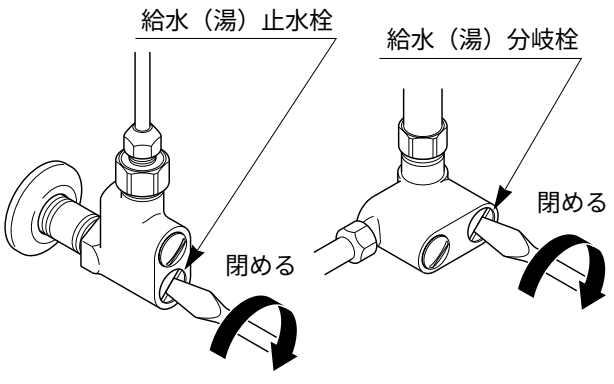
参考2
洗浄中、ノズル付近から少量の水が排出されますが、構造上必要なもので異常ではありません。

ストレーナーの掃除方法

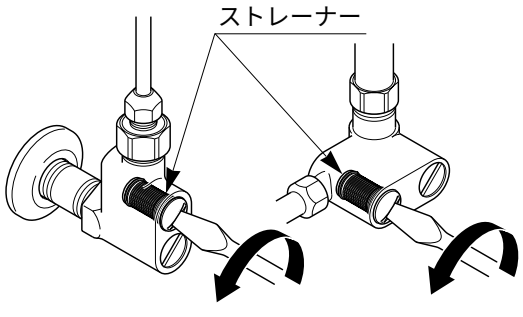
ストレーナーにゴミ等がつまると、適正な性能が得られなくなります。
ストレーナーを掃除する場合は、以下の手順で行ってください。

⚠ 警告	止水栓のストレーナーを、緩めたり外したりしないでください。 ※熱湯が噴出してヤケドをします。
⚠ 警告	必ず止水栓を閉めて行ってください。 ※止水栓を閉めないと、熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

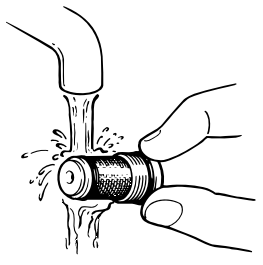
1. 両方の止水栓（分岐栓）をしっかり閉めます。



2. ストレーナーを回して外します。
※ このとき少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



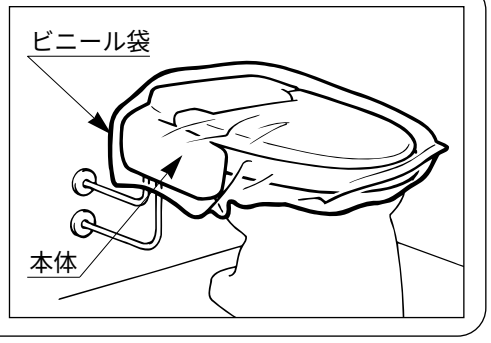
3. ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。



4. ストレーナーを確実に取り付け、止水栓を開きます。

施工完了後の確認

施工後、シャワートイレにキズが付いていないことを確認して、シャワートイレやユニット内を清掃してください。
また、ユニットバスの工事が完了するまで、キズが付かないように、梱包内のビニール袋を便座便フタ側から入れて、本体をカバーしておきます。



長期間使用しない場合

施工終了後、長期間使用しない場合は両方の止水栓をしっかりと閉めておいてください。